

紀伊山地の霊場と参詣道 世界遺産登録20周年 記念シンポジウムin田辺

令和6年7月6日(土)

13:30～16:30 (開場:12:30)

会場 紀南文化会館大ホール

基調講演

合気道の開祖・植芝盛平翁を生んだ“熊野のチカラ”
内田 樹氏 (思想家・武道家)

トークセッション

熊野の魅力とこれからの熊野

【登壇者】



うちだ たつる
内田 樹氏
(思想家・武道家)



しゃく てっしゅう
釈 徹宗氏
(宗教学者・相愛大学学長)



まなご みつとし
真砂 充敏
田辺市長

【参加方法について】

- ・参加費無料
- ・申込方法、その他詳細は裏面をご覧ください。

【お問合せ先】

田辺市観光振興課
(平日8時30分～17時15分)
所在地:〒646-8545
田辺市東山一丁目5-1
(田辺市役所 本庁4階)
電話:0739-26-9929 (直通)
FAX:0739-22-9903 (直通)

シンポジウム概要

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」。山岳修験の「吉野・大峯」、真言密教の「高野山」、そして自然崇拜の「熊野三山」という3つの霊場とそれらを結ぶ参詣道及び文化的景観で構成されており、紀伊半島という狭いエリアの中で、起源も内容も異なる3つの霊場が参詣道でつながり、互いに影響しあって共存していることは、世界的にも稀有であり、その景観や精神性が評価され、2004年に世界遺産に登録された。なかでも熊野は、性別や身分、浄不浄、信不信をも問わず何人も受け入れたとされ、その寛容性を物語る数々の伝説が残されている。

そして、田辺市出身の植芝盛平翁が創始した武道「合気道」。その特徴は、勝ち負けを競わないこと。盛平翁は『合気道は熊野の大神さまの御息のあらわれじゃ。』、『合気とは敵と戦い敵をやぶる術ではない。世界を和合させ、人類を一家たらしめる道である。』と述べており、その精神はいまや世界140の国と地域に広がっている。

今回のシンポジウムでは、思想家兼合気道家であり、「聖地巡礼ライジング 熊野紀行」の著者でもある内田 樹さんと宗教学者の釈 徹宗さんともに、「合気道の開祖・植芝盛平翁を生んだ熊野」の魅力を再認識し、世界遺産の地・田辺の未来について考えていきます。

【プログラム】

12:30	開場
13:30-13:50	オープニング なかへち清姫太鼓
13:55-14:10	開会挨拶 真砂 充敏 田辺市長 九鬼 家隆 氏 熊野本宮大社宮司
14:10-15:10	基調講演 「合気道の開祖・植芝盛平翁を生んだ “熊野のチカラ”」 内田 樹 氏 (思想家・武道家)
15:10-15:25	休憩
15:25-16:25	トークセッション 「熊野の魅力とこれからの熊野」 内田 樹 氏 釈 徹宗 氏 (宗教学者・相愛大学学長) 真砂 充敏 田辺市長
16:25-16:30	閉会

ゲストプロフィール



うちだ たつる
内田 樹 氏

1950(昭和25)年、東京生まれ。思想家・武道家、合気道凱風館館長。神戸女学院大学名誉教授。東京大学文学部仏文科卒、東京都立大学人文科学研究科博士課程中退。専門はフランス文学・哲学、武道論、教育論など。第六回小林秀雄賞(『私家版・ユダヤ文化論』)、2010年度新書大賞(『日本辺境論』)、第三回伊丹十三賞を受賞。主な著書に『ためらいの倫理学』『レヴィナスと愛の現象学』『死と身体』『寝ながら学べる構造主義』『街場の文体論』など。近著に『レヴィナスの時間論』『街場の米中論』『勇気論』など。



しゃくてっしゅう
釈 徹宗 氏

1961(昭和36)年、大阪府生まれ。浄土真宗本願寺派・如来寺住職。相愛大学学長。龍谷大学文学部仏教学科卒業、大阪府立大学大学院人間文化研究科博士課程(比較文化専攻)修了。専門は比較宗教思想。論文『不干斎ハビアン論』で涙骨賞優秀賞(第5回)、『落語に花咲く仏教』で河合隼雄学芸賞(第5回)、また仏教伝道文化賞・沼田奨励賞(第51回)を受賞。主な著書に『法然親鸞一遍』『天才富永仲基 独創の町人学者』など。第26回、第28回、第30回南方熊楠賞選考委員。

お申し込みについて 令和6年6月25日(火)までに以下のいずれかの方法でお申し込みください。

① ホームページでのお申し込み



左の二次元コードからお申し込みください。

② お電話・FAX・申込書でのお申し込み

以下まで氏名、住所、電話番号、参加人数をご連絡ください。

【お申込み・お問合せ先】

田辺市観光振興課(田辺市役所本庁4階)

電話:0739-26-9929 FAX:0739-22-9903

※平日8時30分~17時15分

お申込書

氏名		電話番号	
住所		参加人数	